

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	2705	学校名	大垣工業高等学校（定時制）
------	------	-----	---------------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	生徒の多様性を尊重し、生徒の学びを保障する定時制工業高校として誰一人取り残さないきめ細かな教育活動を通してものづくりによって地域、社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	心豊かな人間性と、創造性を兼ね備えた実践的な産業人の育成を図る。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を育てたいか 【G P】	<ul style="list-style-type: none"> 普通教科の基礎学力と工業科目に関する専門的な知識と技能を身に付け、主体的に課題解決に取り組むことができる生徒 相手を思いやる謙虚な心と望ましい人間関係を構築できる力を持ち、社会のルールに基づいて、主体的に判断して行動することができる生徒 望ましい勤労観や職業観を身に付け、技術とコミュニケーション能力のある産業人として地域社会に貢献できる生徒 	
	生徒をどう育てるか 【C P】	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器を活用した分かりやすい授業で基礎基本の定着を図り、検定取得に向けて個別指導を行うなど、学習意欲を高めるための個別最適な学びを推進 授業や生徒会活動等のなかで生徒が協働して学ぶ場面を意図的に設定し、課題解決に向けた探究的な学びを推進 ものづくり教育、就労体験等、地域人材による講演会等とおしてキャリア教育及び就職支援を推進し、生徒の進路実現能力を育成 	
	どんな生徒を待っているか 【A P】	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりやI T技術に興味があり、将来、産業人として地域の発展に貢献したいと考えている意欲のある生徒 ルールやマナーを守り、卒業をめざして仲間と楽しい学校生活をおくり、信頼される大人になるために人間的に成長したいと考えている生徒 進路目標達成のため、積極的に資格や検定の取得を目指し、学力や技術、コミュニケーション能力を身に付けたいと考えている生徒 	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着、個々の生徒に対するきめ細かい指導、外国籍生徒に対する日本語教育等の個別最適な学びに対応する指導や支援体制の推進 生徒に対する新学習指導要領で定義された「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の学力の定着。 職員の共通理解のもと全職員が適時に生徒への心の育成指導を行い、進路実現にむけた生徒とのコミュニケーションを大切にされた支援体制の確立。 		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	産業人として必要となる基礎学力の定着と技術の向上を図り、自ら課題に取り組む学習態度の育成	
	進路指導	ものづくり教育を通して、地域に貢献できる産業人としての資質を育成	
	生徒指導	自他の生命を尊重し、個人や集団の健康と安全に留意する態度を育成	
	その他	地域と協力し「ふるさと岐阜」支える人材育成	
教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施	<ul style="list-style-type: none"> 出退勤管理システムを活用して教職員の在校時間等を把握し、業務分担の見直しや教職員間の業務量の平準化を図る。 勤務時間のスライド等の勤務時間制度を活用して、教職員の柔軟な働き方を推進し、ワーク・ライフ・バランスの充実を図る。 		

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	県教育振興基本計画での位置付け	達成度の判断・判断基準あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合評価 A. B. C. D
学習指導	教材や指導内容の精選を図るとともに、少人数授業やI C T活用等の工夫を図り、わかる授業、できる授業の実践を推進	施策Ⅱ-8	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価の結果 欠席・遅刻・早退者数の比較 生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果 				
	個々の生徒の状況を把握し、生徒個々に応じた個別最適な学びに対応する指導や支援体制の推進	施策Ⅳ-23					
	生徒の自主的な学習を支援し、既習事項の定着を図るため、定期考査前に個別指導の期間を設けるなど学び直しを推進	施策Ⅳ-23					
進路指導	ものづくり教育を通して企業から求められる産業人として必要な技能・技術力、コミュニケーション能力を育成	施策Ⅱ-13	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価の結果 定期考査の前年度成績結果との比 取得した資格の種類と人数 キャリアガイダンスや校外研修(企業見学)面接指導に参加した生徒数 				
	企業から求められる産業人として必要な、基本的生活習慣や規範意識の育成	施策Ⅱ-14					
	就労体験等を活用して、多様な他者と協働することの重要性を理解させ、主体的に取組む姿勢、望ましい勤労観と自己実現能力を育成し、キャリア教育を推進する。	施策Ⅱ-13					
生徒指導	健康相談や教育相談等を随時実施し、保護者との連携を密に図り、生徒の心身の健康教育を推進	施策Ⅰ-7	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数と生徒・保護者の意見 職員研修実施後の報告書等 給食の摂食率と健康診断結果の比較 				
	職員研修により、全ての職員が個々に特別支援に関する知識を向上させ、困り感の強い生徒に組織による支援体制を構築	施策Ⅳ-26					
	5 S活動を通して、ルールを守る大切さを学ばせ、安全・安心な学習環境を構築	施策Ⅲ-19					
	給食活動を通して食育を充実させ、積極的な健康づくりを推進	施策Ⅲ-17					
その他	公開授業を通して、家庭や地域の方と連携した生徒の育成	施策Ⅰ-7	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価の結果 生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果 				
	親子ものづくり教室等の地域貢献を通して、ふるさと岐阜への愛着を育む	施策Ⅰ-4					
	ふるさと岐阜の産業を支える人材育成のために、将来を見据えた学習内容や実習環境の改善を推進	施策Ⅳ-20					

来年度に向けての改善方策等	実施日：令和9年 月 日	学校関係者評価	実施日：令和9年 月 日